

学校名 幸手市立権現堂川小学校
所在地 埼玉県幸手市大字神明内570
電話 0480-48-0950

1 本校の概要

本校は、150年の歴史と伝統のある学校であり、児童数は55名の小規模校である。近くに圏央道のインターチェンジがあり、学区内には中川が流れる自然豊かな土地と地域に見守られている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 各教科等における学習に結びつけた取組
- ・ 学校図書館等の環境整備の工夫
- ・ 家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 図書館協力員の配置・連携

○蔵書の管理・誰にでも分かりやすく整理

- ・ 本の配置替え
- ・ 分類の細分化
- ・ 古い書籍の除籍→取りやすく整理

○新しい本の発注

- ・ 児童・教員・地域からの要望
- ・ 授業で子供が使用
- ・ 教師の課題づくりの参考
- ・ 読み聞かせに好ましい本のリストから選定
- ・ 新教科書に掲載予定

○定期的な本の入れ替え

○季節や教育活動に応じた効果的な本の展示

○潤いのある環境整備

○学級への図書の貸し出し（学級文庫を補完）

○学習に必要な図書の学級への貸し出し

○しおりの作製

○貸出ランキング（本・利用者）を2か月毎に集計し掲示

○幸手市立図書館との連携



イ 授業内での積極的な図書室利用・蔵書利用

学習空間、調べ学習、読書、課題づくり、教材研究学習資料として活用した。

ウ 憩いのスペースづくり

○校長室で不要となったソファを図書室に転用

○テーブル配置の見直し



エ 全校で継続的な読書活動を推進

○児童一人一人が読書記録をつけ、自分の読書の足跡を残す。月毎に目標冊数を決め、いつでも主体的に読書に取り組めるよう働きかけた。

○学年毎に年間読書目標を設定した。目標達成のために、学期毎の目安冊数も設け、達成した児童にリサイクル本引換券を贈呈した。

○除籍図書をリサイクル図書として好きな本を1冊選択させた。

オ 図書委員による企画

○おすすめ本コーナーの計画・運営

○読書記録の集計、放送による報告と表彰

○読書スタンプラリー・読書ビンゴ

目標を達成すると、しおりを贈呈

○図書委員会児童による本の読み聞かせ

「運動禁止の中でも昼休みをもっと楽しく

するには」との、図書委員児童の発想から開始。

その後、スタンプカードを作り定期的な活動に発展している。



カ 読み聞かせ

○「お話の森」の方によるお話会

（年2回国語科1時間各クラス）

○保護者等のボランティアの方による読み聞かせ

（毎月1回朝の活動15分間各クラス）



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 休み時間や授業での学校図書館の利用者が増えた。
- ・ 貸出冊数が、前年度比較で2倍以上になった。

(2) 課題

- ・ 読書習慣の定着
- ・ 読書の幅を広げる

(3) おわりに

読書習慣につながるような取組、読書活動の幅を広げていけるような取組を考えていきたい。